

3 快適で安全な教育環境の整備

～「県立教育施設再整備10か年計画（まなびや計画）」～

【基本的な考え方】

既存計画の着実な推進と耐震化対策の充実

既存計画である「県立高校改革推進計画」、「アクションプログラム（県有施設耐震化事業計画）」及び「アスベスト対策」の着実な推進と、入学を希望する児童・生徒が急増している特別支援学校の計画的な整備を推進する。

また、県立学校の耐震化対策を一層推進するため、耐震診断について計画を前倒し実施するとともに、耐震補強工事に先立ち仮校舎を設置し、児童・生徒等の安全と学習環境を確保する。

【平成20年度の特徴的事業】

(1) 県立学校の耐震化対策の充実 2,508,048千円（前年度対比 127%）

ア 耐震診断の前倒し実施

21年度に予定していた体育施設（柔剣道場）の耐震診断を前倒して、20年度に全ての体育施設の耐震診断を完了させるとともに、22年度以降に予定していた鉄骨造の実習棟の耐震診断を20年度に実施する。

この結果、県立学校の主要な建物について、耐震診断が終了する。

【20年度実施施設数】

- ・ **体育施設 43校 43棟** [従前の予定 24校 24棟（19校 19棟の増）]
- ・ **実習棟等 9校 17棟** [従前の予定 -（皆増）]

イ 耐震補強工事の着実な推進

県立高校改革推進計画及びアクションプログラムに位置づけられた施設について耐震補強工事を着実に実施する。

【20年度実施施設数】 **9校 12棟**（19年度 7施設 8棟）

ウ 耐震補強工事に向けた仮設校舎の設置

20年度以降に計画している耐震補強工事に向け、仮設校舎を設置する。

【20年度設置棟数】 **4校 4棟**

(2) アスベスト対策の着実な推進 910,888千円（前年度対比 160%）

法令等の改正（石綿の含有率 1%→0.1%）により、新たにアスベスト対策が必要となった施設についても、除去及び囲い込み工事を実施する。

【20年度実施施設数】 **22校 27棟**（19年度 19校 20棟）

(3) 特別支援学校の整備

既設養護学校の過大規模化に対応するため、相模原方面と横須賀方面に新たに特別支援学校を整備する。

ア 相模原方面特別支援学校（平成23年4月開校予定）

元さがみ緑風園跡地に新設する。

【20年度事業】

- ・ 建物の基本・実施設計、グラウンドの基本設計及び既存建物等の除却

イ 横須賀方面特別支援学校（平成22年4月開校予定）

高校再編により非活用となる岩戸高校を特別支援学校に改修する。

【20年度事業】

- ・ 改修工事の基本・実施設計